

JOC(第10回全日本ジュニアボート選手権大会)

6月6日(水)、勝山・福明・岡崎さんの3名の保護者に見送られ新幹線で、古米・河井君斑蛇口湖へ出発した。今年は関西からこの2名のみだが、少数精鋭という感じだろうか。森川先生は艇の運搬のため、高速道路を鬼火弾号で8時間かけて爆走した。さて、今年は『私をブルガリアに連れてって』だそう。光亦君のフランス以来でそろそろ海外旅行に行きたい頃だろう。

				全国エルゴ
南條 翔也	今治南高校	愛媛		06:59.9
和多田 大樹	敦賀工業高校	福井	12月の強化合宿で18位	06:54.9
石畑 祥太郎	中央大学	東京		
古米 峻知	関西高校	岡山	12月の強化合宿で7位	06:55.7
山根 慶大	山田高校	岩手		06:50.3
桂田 野真登	伏見工業高校	京都		06:38.2
川野 陽平	熊本学園大付属 高校	熊本		06:56.0
水本 郁人	富山東高校	富山	12月の強化合宿で15位	06:38.9
PARK	KOREA	KOREA		
HYUNSOO				
河井 京介	関西高校	岡山	12月の強化合宿で5位	06:45.1
麻生 拓人	大村高校	長崎	12月の強化合宿で19位	
中村 匠吾	富士河口湖高校	山梨		

予選の組み合わせを見ると、中々大変そうだ。古米は大学生と並べるし、河合は韓国の選手と一緒に。

6月8日(金) 予選

南條 翔也	今治南高校	愛媛	棄権				
和多田 大樹	敦賀工業高校	福井	3	1'51"84	3'46"95	5'47"89	7'45"19
石畑 祥太郎	中央大学	東京	4	1'53"60	3'47"99	5'47"29	7'46"80
古米 峻知	関西高校	岡山	1	1'48"12	3'40"62	5'36"29	7'29"82
山根 慶大	山田高校	岩手	2	1'50"71	3'45"76	5'49"50	7'30"92
桂田 野真登	伏見工業高校	京都	5	1'54"53	3'49"16	5'48"89	7'52"44

川野 陽平	熊本学園	熊本	3	1'50"16	3'45"51	5'44"49	7'41"73
水本 郁人	富山東高校	富山	2	1'52"70	3'46"24	5'43"51	7'38"27
PARK HYUNSOO	KOREA	KOREA		1'47"02	3'39"32	5'34"36	7'27"59
河井 京介	関西高校	岡山	1	1'51"57	3'43"65	5'41"71	7'35"09
麻生 拓人	大村高校	長崎	5	1'53"82	3'50"44	5'47"23	7'48"70
中村 匠吾	富士河口湖	山梨	4	1'54"52	3'44"68	5'48"86	7'47"45

**古米・河井共に1位で予選通過。(まあ、河井はオープン参加の韓国選手にブツぎられましたが…)
午後からの準々決勝が最大の山場です。狂います！ マシーンになります！！**

準々決勝 E 15:32

恵良 京太郎	今治北	愛媛	6	8'24"25	
奥脇 尚哉	富士河口湖	山梨	3	8'13"01	
長谷川 和也	阿賀黎明	新潟	5	8'17"43	
古米 峻知	関西	岡山	1	7'57"03	→準決勝へ
丹羽 克斗	敦賀工業	福井	2	7'58"43	
中村 匠吾	富士河口湖	山梨	4	8'14"91	

準々決勝 G 15:48

石畑 祥太郎	中央大学	東京	4	8'06"82	
森 猛	加茂	岐阜	5	8'08"13	
河井 京介	関西	岡山	3	8'02"82	→順位決定へ
高木 利也	若狭	福井	2	7'55"83	
波多野 亘	阿賀黎明	新潟	1	7'49"84	
緒方 凱	八幡工業	福岡	6	8'20"49	



韓国選手と国際交流
先生の顔の広さの賜物です
会話は英語なのかな？

6月9日(土) 準決勝 B 10:52

杉田 大	富山工業	富山	6	1'57"26	4'00"09	6'05"21	8'11"63
竹内 友哉	今治西	愛媛	1	1'52"83	3'52"25	5'49"74	7'49"27
古米 峻知	関西	岡山	5	1'49"91	3'49"28	5'53"49	8'00"34
武田 和樹	小浜水産	福井	2	1'52"38	3'50"19	5'45"74	7'53"19
矢野 哲圭	宮島工業	広島	3	1'51"70	3'51"18	5'54"15	7'55"66
山根 慶大	山田	岩手	4	1'55"62	3'58"20	6'00"00	8'00"19

→C 決勝へ

900ぐらいまで4艇がピタッと並んでました。が、そこから……………?! とってもタイトなレースでした。

ブルガリアへの夢は潰れてしまった。しかーし!!ある意味インハイが楽しみになってきた。個人の実力で世界と挑戦するのも良い事だが、その代わり日本での戦績が残念な結果に成ってしまいがちだ。3年前に光亦君が「おフランス」に行った時はクォードは4位で終わった。更にその前は、三村・草地君が「北京」に行き、クォード6位・ダブル8位と振るわなかった。インハイ優勝2連覇中、3連覇目指して頑張ってるよ。

6月10日(日) 順位決定 E 10:08 22-27位決定戦

奥脇 尚哉	富士河口湖	山梨	6	1'51"74	3'51"42	5'55"81	7'57"75
河井 京介	関西	岡山	1	1'49"99	3'44"87	5'43"61	7'34"14
是澤 祐輔	宇和島東	愛媛	2	1'48"50	3'41"84	5'41"18	7'34"48
出口 斗紀哉	小浜水産	福井	5	1'52"47	3'46"06	5'45"75	7'45"86
本間 光夫	阿賀黎明	新潟	4	1'53"63	3'48"07	5'47"09	7'42"18
岡崎 勝大	宇和島水産	愛媛	3	1'50"99	3'43"83	5'42"85	7'40"52

結果は76人中22位でした。

自分の中では全く納得のいく結果ではありません。

順位決定の試合に行く時に先生から一言言われた言葉がありました。

『日本代表になれないなら日本代表候補になれ! 全力でやって来い!』

正直少し弱気になってしまっていたのですがこの言葉を聞いて一気に弱気から強気になりました。

そして、Eファイナルのレースに臨んだ結果一位で最後の最後で気合いで二位の是澤さんをさし、一位をとる事ができました。

しかし、こんな結果で満足をしてはいけません。来年のJOCでは今回の事をもっといかしさらに強くなって世界への切符を手に入れられるようにやっていきます。

そして、世界に行けなかった悔しさを忘れずインターハイでの優勝を目指してチーム一丸となっていきたいと思います。

決勝 C		10:40	10-15 位決定戦				
石鍋 幸太郎	本所 東京	6	1'59"44	3'46"87	5'45"15	7'46"23	
濱口 稜	法政大学第二 神奈川	5	1'52"60	3'45"81	5'45"74	7'39"74	
櫻井 克茂	加茂 岐阜	2	1'49"88	3'44"69	5'43"08	7'31"44	
高木 利也	若狭 福井	3	1'54"37	3'48"29	5'44"03	7'32"07	
山根 慶大	山田 岩手	4	1'54"74	3'49"21	5'47"12	7'34"54	
古米 峻知	関西 岡山	1	1'51"61	3'43"50	5'41"63	7'30"96	

今回決勝 C 組みに出場し総合 10 位でした。

決勝 C 組みでは後半スパートを入れ現地報告 4 日目の目標に書いたように 1 位でフィニッシュすることができました。

前回出場したときは 70 位前後だったのですがこの 1 年間で大きく成長することができたと思います。ただ今回世界への切符を手にするができなかったということは、まだまだ実力不足でもあり、更にスピートを出すことができるようにして行かなければなりません。

今回の結果を受け止め来年こそはリベンジします。

先生のお言葉

応援ありがとうございました。結果は、選手たちが掲示板に書いているとおりです。

コース上の橋の上で大声を出し過ぎて声が出ません。

結局、日本代表にはなれませんでした。選手たちはよく頑張りました。二人ともそれぞれの最終レースを 1 位で finish しました。大会を通じて一番良いレースが出来たのではないのでしょうか?! もうひとつ思うことがあります。彼らはレースをするたびに確実に「進化」していったと……。

また、今回は、いや今回も古米・河井の家族が遠路熊本まで応援に駆け付けてくれました。参加選手が少なかったので今回ほどありがたく思ったことはありません。湖面にこだまするお母さんの熱い叫び声は、間違いなく息子に届きました。元気と勇気を与えてくれました。(あっ、もちろんお父さんも……でも、やっぱりお母さんです!) 本当にありがとうございました。

優勝した津久井高校の山口君は 7'20"47 だった。2・3 位には韓国選手が挟まっていた。最終日のレースは力の均衡している選手が競り合うから応援にも力が入る。現地で応援していた保護者はきっと、楽しい思い出になったはずだ。いや、来年の楽しみが膨らんだに

違う。ヨーグルトでも食べながら、もう一年待てよう。

国体県予選

6月17日(日) 3年生にとって最後の百間川での試合になる。この試合のために神様は梅雨前線さえも南下させてくれたのだろうか、雨マークがズラッと並んだ週間予報にぼっかりと晴れ間がさした。気温は跳ね上がり多湿で、川の水量は多くてテントの際まで水が増していった。

シングルスカル

1着	県立高校選抜	3:46:08
2着	関西高校A	3:56:88
3着	関西高校B	3:57:99
4着	関西高校C	3:59:41

どれに誰が乗っていたかは分からなかったが、保護者の声援で坪井・竹中・松村が乗っていることは分かった。そして、審判艇の「竹中」コールでCが竹中だろうと察した。コースを反れて隣のBに近寄っていく、一直線上に並ぶと接触の恐れがあるので審判も名前を強く連呼しだし、ついには「止まれ！」とまで叫ばれていた。

ダブルスカル

1着	県立高校選抜	3:21:12
2着	関西高校A	3:21:47
3着	関西高校C	3:32:18
4着	関西高校B	3:55:07
5着	岡山東商業	4:12:54

タイムを見ると肉薄していた様に思えるが、県選抜チームのブッチギリレースだった。ラスト疲れた県選抜にスパートで追いついたといった感じだったろうか。

クォドルプル

1着	関西A	3:15:60	(C 和田・古米・中西・小野田・河井)
2着	県立高校選抜A	3:38:02	
3着	県立高校選抜B	3:44:06	
4着	県立高校選抜C	4:06:25	
5着	関西B	4:09:97	

今の戦力全てをAクルーに集めていた。COXの和田以外は皆2年生で固められていた。シングル・ダブルを落とした後で、胸のすくようなブッチギリのレースを見させて貰った。Bは1年生クルーで保護者もほのぼのとした声援を送っていた。

試合が終わると挨拶に 750m 地点の応援団席までやって来る。遠目から観ていたので表情までは分からなかったが、涙を流しながらの 3 年生もいたという。が、泣き崩れる子はいなかったみたいだ。インハイに全種目出場するので 5 人しかいない 3 年生の内、何人残るかは知る限りではないが、試合がある子もサポートに回る子も残りのボート生活を頑張っていて欲しい。

挨拶といえば、今回 OB の参加は日大の山地君のみで、成年シングルは 2 本漕ぐタイムトライアル、2 本とも 1 着をとった。1 本目の後、2 着の竹内さんと共に保護者席に来ていた。竹内さんも応援のお礼の挨拶をされている。びっくりした。しかし、OB 参加者が少ないと応援団もこじんまりと見えるのは気のせいだろうか？

関西の試合も終わり、そろそろ帰ろうかと思う頃、側におばあさんが一人双眼鏡片手に立っていた。ポツリと呟く声に耳を傾けた。

「何処におるんか分からんなあ。」

いつから土手に来られていたのか気がつかなかったが

「オールの色とかローズー・・・ユニフォームの色は何色ですか？」

と声を掛けてみた。

「それが・・・聞いてないんです。」

「どちらの学校ですか？」

他校だったら会話にも気をつけないといけないので恐る恐る尋ねてみた。すると、関西応援団を指差された。これなら、突っ込んでお話しも出来るというもの。名前を聞くと「中西です」と帰ってきた。聞いたことがある名前。確か 2 年生。何に乗っていたか咄嗟に分からない。クォードと言っても分からないだろうから

「何人乗りに乗られていますか？」

「3 人乗りとか・・・。」

ムムムム・・・。困った。ダブルだろうか？クォードだろうか？ああ！クォードだった様な気もするし・・・。昨日の掲示板で本人が何か書いてたよな！（下記参照）

「3 人乗りは無いんですよ。一人乗りと二人乗りは負けてしまいましたが、5 人乗りは勝ちましたよ。」

「そうですか。男の子じゃけえ、あんまり話さんから、よう分からんのんです。」

そこへ H22OB 保護者浅野母が階段を登ってくるではないか！

「中西君って何に乗ってたんか知ってる？」

これで判明するかと思ったが、浅野母も覚えていなかった。A クルーのメンバーを指を折りながら

「河井君、古米君、小野田君・・・あと一人、誰やったかなあ。」

中西君です。すいません、おばあちゃん。お孫さん勝ったんですよ。おめでとうございませう！
って、私がこんな事書いているのを知るのは大分先ですね、笑。土手の上には、別の物語が転がっていた。孫に内緒でこっそり見に来る人がポツポツといる。関西だ

けじゃなく、備前緑陽だったりもする。現役保護者に気を使わせないようにと赤木さんを筆頭に、遙か上の OB 保護者がいる。まあ、結局見つかって、遠いのにコーヒーを運んで貰う事になってしまうのだが・・・どうもすみません。 土手の上も中々面白い。

下記

こんばんは、中西です。

明日国体県予選があります

自分はクォドで出場させていただきます。

クォドに限らずどの種目もなんですけど

関西高校は絶対に県立高校には負けてはいけません。

全種目として関西高校です。

関西のスピードを県立高に見せ付けてやりたいと思います。

3 年生は百間川でのラストレースになるので一緒に乗る和田先輩には絶対にブッチギリで勝って良いラストレースだったと思ってもらえるようなレースにしたいと思います。

応援よろしくお願いします。

それから、今日は RSK のカメラがウロウロしているなあと思っていたが、クォードにくっついて保護者席までやって来て、挨拶の場면을撮っていた。片付けの間もずっとへばりついている。OHK じゃないから『あっぱれ ジュニア』じゃないし、ニュースにでも流すのかな？と眺めていたが、何と！インハイまでの密着取材だと知った。おお！プレッシャーてんこ盛り！緊張感 MAX！がんばれ~~~~関西！！

先生のお言葉

私にとって怒涛の6月の最後でもありました。保護者・OB保護者の皆様におかれましては、蒸し暑い中、応援ありがとうございました。結果は・・・ドツと疲れました。昨夜は不貞腐れてゴイゴイ飲んで眠ってしまいました。(やはり病は気からですかね?!) 関西 TEAM に対して何処にも負けないくらいの応援をして頂いたにもかかわらず、シングル・ダブルの代表権を逸してしまいました。県立高校選抜との全面对決とはいえ、今年のチームの弱さを露呈するかたちとなったのではないかと考えています。中略

「もう日が暮れる。今来た道に帰れない。」

怒涛の6月が終わり、梅雨が来る。夏が来る。台風が来る。熱い熱いボート部の夏が始まる。

今年の梅雨は、青いつやつやとした梅を眺めてみる様な優雅なことを言っていられないほどの雷と大雨に見舞われた。先生もこんな事をブログに綴っていた。

7月7日(日)

最悪の一日でした！

激しく腰と肩が痛いっす。腰が痛くて歩行困難です。右腕がまともに上げられません。

昨夜、TVで映画「千と千尋の神隠し」を見ていたら、画面に県北地域の「大雨警報」のテロップが映し出されました。(驚いたことに竜巻注意報までも出されてました) その時の旭川ダムの放水量は毎秒110t。ダムの放水量は少し気になりましたが、11時頃は130tだったので「大したことはないだろう」と思い床に就きました。(実際300tまでは安全なんです!) その後、深夜になると岡山市も激しい雷雨になりました。雷の音でなかなか寝付けませんでした。

午前2時頃に西中島町内の〇村さんから私の自宅にこれから350tの放水があると……。そして午前3時過ぎに再度連絡が入りました。今度は750tになると……。それから午前4時に勝山主将から連絡が……。この時、緊急に部員を集合させようと思いましたが、こんな時間に集合はどうなんや?! と思い、布団の中でモンモンとしていました。しかし、「やっぱり行かなければ」と思い、一人で旭川に向けて車を走らせました。

5時前に旭川に着き、川を見た瞬間、ビビりました!! 川は濁流で艇を置いてある中州は半分浸かっているのです。(その時のダムの放水量は毎秒1250t) これはヤバイ!! と思い、主将と何人かの市内の部員に連絡し、緊急集合をかけました。部員を待つ間、一人で流されそうになっているサンダル・プラスチックBOX等を片付けていました。五時半頃に岡田・古米が来てくれて3人でクォドやシングルを移動させました。その後、坪井・勝山・河井が…。6人で腰あたりまで水に浸かりながら艇・スチールBOX等を移動させました。だから腰・肩が痛いのです。この放水・増水による被害は、救命具BOX・ゴミ箱の流出だけでした。

もし、未明に町内の方から連絡がなかったら?、午前4時半に旭川に向けて出動していなかったら?、行動が30分遅れていたら?、部員が集まっていなかったら?、どうなっていたでしょうか?! 想像するだけでゾッとします。それにしても……。干潮に向かっているとはいえ、未明にあんなに放水されると?! (思わずH10年の大洪水を思い出しました) とりあえず明日は朝から救命具BOXの搜索です。

これでしばらく練習が出来なくなりました。かくなる上は、「マイナスをプラスに変える」・「ピンチをチャンスにする」練習をしなければなりません。勝負に言い訳なんてないのです！

8日に私も旭川土手を通りかかる機会があったが、いつも艇を置いている中島は水没。兩岸の河川敷も川の中。中島のシンボル、木陰を作ってくれている大きな木が濁流の中から頭を覗かせているだけであった。更に天気は暫くぐずつき、13日(金)には再び大雨警報が出た。12日は先週の大雨で被害が出た大分・日田でまた豪雨になり、今度は熊本市内と菊池市にも被害が及んでいた。菊池・・・ジュニアでお世話になる斑蛇口湖に行くときの定宿がある街である。このニュースを見て心配しているOBも多いに違いない。北九州地域で30人以上の死者が出て、河川の氾濫や土砂崩れで家屋の全壊・半壊が報道された。岡山はこの大雨の後、真夏を感じる蒸し暑い日々が到来した。梅雨が明けて国体中国大会を迎える。

国体中国大会 in 芦田川

7月22日(日)、福山の芦田川で行われる。クオドルプルだけの参加で、COXの和田以外は全員2年生の若いチームで臨む。この試合が終われば、インハイと国体を残すのみとなる。是非、岐阜清流国体に行つて欲しい。芦田川では3年生がサポートで動いてくれるようだ。炎天下の中、熱中症が全国で急増しているが気をつけて頑張つて欲しいね。

試合結果

関西クルー:C 和田・古米・河井・小野田・B 中西

1回戦 10:20

1	岡山県	関西高校	3:23:82
2	山口県	西市高校	3:24:13
3	島根県	島根選抜	3:26:77
4	鳥取県	鳥取県選抜	3:29:77
5	広島県	宮島工業高校	3:30:46

2回戦 12:20

鳥取県	鳥取県選抜	1:50.39	3:42.27	
山口県	西市高校	1:47.28	3:36.42	2位
岡山県	関西高校	1:45.80	3:33.52	優勝!
広島県	宮島工業高校	1:49.70	3:41.60	
島根県	島根選抜	1:49.39	3:40.60	3位

やったね!

国体出場決定!

投稿者：勝山 母

暑い中、たくさんの方々に応援に駆け付けて頂き
中国ブロック大会・一位通過!!...ホットしております。この勢いで選手の皆さん、インターハイも頑張ってください、今日は、お疲れさまでした。

また、暑い中応援に駆け付けて下さいましたH22年度浅野会長、佐藤さん、正宗さん、岸本さん、ありがとうございました。浅野会長には保護者の為に差し入れを頂き、ありがとうございました。

そして、H23年度の皆様にもたくさん応援に駆け付けて頂き、我々保護者の為に差し入れまで頂き、ありがとうございました。

帰り際には、「インターハイ応援頑張ってるね」と優しいお言葉をかけて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

先生のお言葉

本日、国体中国ブロック大会。 関西クルーフানের皆様におかれましては、熱き応援ありがとうございました。 おかげさまで一位通過することができ、「ぎふ清流国体」の出場権を得ることができました。

本日のレース、一本目は最後の最後でライバルを差し切り薄氷を踏む思いで一位。 二本目は魔法を掛けて?安心して見ていられるレースでした。 いや、魔法ではありません。一本目が終わった後、クルーリーダー古米が言った「謙虚にやっていこう!」という言葉が仲間に響いたのではないのでしょうか?

暑い、暑い1日は『めでたし、めでたし』で終わった。成年もOB山地君がダブルで優勝し、見事、国体出場を果たした。